

ごあいさつ

2020(令和2)年1月以降、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスの感染拡大は、国内外の人流が大きく減少したことで当社の事業運営に深刻な影響を及ぼし、大変厳しい状況が続きました。そのような中においても、社会インフラを支える使命を担う当社として、北海道における移動手段の確保のため、お客様や社員の感染拡大防止に取り組み、安心して鉄道をご利用いただけるよう努めてまいりました。現在、2023(令和5)年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へと移行したことに伴い、生活の足、ビジネスの足、観光の足として鉄道のご利用が回復してきています。また、2023(令和5)年3月には北広島市に「北海道ボールパークFビレッジ」が開業し、大変多くの方が来場しており、当社としても臨時列車を運行するなどボールパーク輸送に取り組んでいるところです。こうした外出・観光等のニーズの高まりに応え、鉄道事業や開発・関連事業を展開することで、北海道をさらに魅力的にすべく、全力で取り組んでまいります。

「安全の再生」

当社は、会社発足以降の社会環境の変化や金利低下などを受け悪化する収支の改善に取り組むうち、いつしか絶対に守らなければならない安全の基準を守ることを忘れ、2011(平成23)年の石勝線列車脱線火災事故をはじめとしてその後の一連の事故や不祥事などを発生させ、2014(平成26)年1月に国土交通大臣より「輸送の安全に関する事業改善命令及び事業の適切かつ健全な運営に関する監督命令」を受けることとなりました。

2023(令和5)年、函館線大沼駅構内貨物列車脱線事故から10年が経過します。安全問題を引き起こしたことを深く反省し、安全を最優先とする企業風土を風化させることなく、今後も「安全」を経営の根幹と位置づけ、安全基盤の再構築を一層推進してまいります。

「中期経営計画」「長期経営ビジョン」の推進

2023(令和5)年は、2019(令和元)年度から5か年の中期経営計画の最終年度です。コロナ禍の影響及び燃料・電気料金高騰などもあり数値目標の達成は困難な状況ではありますが、「長期経営ビジョン」で目指す「北海道新幹線の札幌開業を機に2031(令和13)年度の経営自立」は変わりません。現中期経営計画の取り組みを着実に推進しつつ、情勢変化に対応した次の「中期経営計画」を策定し、目標達成に向け取り組んでまいります。

「当社単独では維持困難な線区」を公表してから6年が経過しました。関係者の皆様ともなお一層の連携強化を図り、地域の皆様と一体となってアクションプランを推進するとともに、2023(令和5)年度は「調査・実証事業」に取り組み、その結果を踏まえた「総括的な検証」を行い、さらに「抜本的な改善方策」に向けた検討を行います。

ご利用のお客様、地域の皆様をはじめとする関係の皆様へ深く感謝するとともに、愛され親しまれる企業を目指し日々奮闘してまいりますので、引き続き格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 島田 修
代表取締役社長 綿貫 泰之

ごあいさつ	1
経営計画	
長期経営ビジョン・中期経営計画の推進	3
安全の再生	
当社が発生させた一連の事故・事象	7
JR北海道 安全の再生／安全計画2023	8
激甚化する自然災害への対策	
冬期間における安全で安定した輸送確保の取り組み／	
台風や集中豪雨への対策	11
人材確保・社員教育・コンプライアンスの徹底	
人材の確保／社員教育／コンプライアンスの徹底	12
鉄道環境の変化	
JR北海道発足後35年の経過	13
持続可能な交通体系の構築に向けた取り組み	17
北海道新幹線	
北海道新幹線の概要	21
整備スキームと札幌延伸に向けた取り組み	22
北海道新幹線固有のコストと特殊性	23
北海道新幹線の冬期対策	26
青函トンネルの防災・避難誘導設備	27
並行在来線(函館～長万部～小樽)の概要	28
北海道新幹線の営業施策	29
北海道新幹線の札幌延伸に向けた取り組み	30
札幌駅周辺開発について	31
鉄道事業	
業務運営の効率化～システムチェンジ	33
都市間輸送と札幌圏の取り組み	35
新たな旅のスタイルの提案	37
観光列車の取り組み	38
インバウンド需要回復を見据えた鉄道利用促進の取り組み	39
CS向上に向けた取り組み	40
開発事業	
開発事業の取り組み	41
環境保全の取り組み	
カーボンニュートラル等の取り組み	43
JR北海道グループ	45
各種データ	46
沿革	49
会社概要	50

JR北海道グループ 経営理念

JR北海道グループは、

- お客様の安全を最優先に取り組みます。
- コンプライアンスの徹底をはじめ、企業に求められる社会的責任を果たします。
- 安心してご利用いただけるサービスを提供し、お客様満足の向上をめざします。
- 北海道に根ざす企業グループとして、地域の発展に貢献します。
- 個人の創造力とチームワークを高める企業風土を醸成し、社員の充実感の向上とグループとしての成長をめざします。

私たちの誓い

- お客様の命を守ります。社員の命を守ります。
- 「安全第一、安定第二」
危ないと思ったらすぐに列車を止めます。
- JR北海道社員としての自覚を持って行動します。
社会のルールを守ります。会社のルールを守ります。
- 「お客様あつての私たち」感謝を忘れず仕事をします。
- 「確かな技術力」身につけ、磨き、伝えます。
- 「鉄道はチームワーク」
お互い声をかけ合い、進んで協力します。
- 「一人ひとりがJR北海道」誇りを持って仕事をします。

表紙／雪の中を走行する721系(函館線 妹背牛～深川間)

